

彼方小だより

児童数配布

富田林市立彼方小学校

令和4年12月号

「Re:スタート！」

校長 藤井 貞彦

早いもので今年も残り一か月になりました。朝夕の冷え込みが厳しくなり、季節も秋から冬へと様変わりしてきました。山の木々も赤や黄色に色づいて、私たちの目を楽しませてくれています。

先月は日曜参観・個人懇談会と多くの保護者の皆さんに学校に来ていただきました。学校での子どもたちの様子を見ていただいた上で、懇談会でお話のできたので、大変有意義な

時間になりました。また、日曜参観後の清掃活動にはPTA役員をはじめ、多くの保護者の皆さん（なんと100人以上）にご参加いただきました。子どもたちの掃除では行き届かない場所を中心に校内をきれいにさせていただきました。本当にありがとうございました。

先日、3年ぶりに（コロナ禍以降初めて）この時期の京都を訪れました。紅葉で彩られた寺院を散策し、燃えるようなモミジの赤い色に心を奪われました。それと同時に人の多さにも驚きました。観光地には人・人・人、参道も大混雑でお店も大賑わいでした。また、外国人観光客も戻ってきたようで、様々な国の言葉が飛び交っていました。バスも満員、道路も渋滞していたので、調子に乗って京都の町を歩き倒しました。（週明けには恐ろしい筋肉痛が私を襲ってきたのは言うまでもありません・・・）

この2年間、行動制限でいろいろと規制されてきたことが、ここにきて一気に復活してきたように思います。大変うれしい事なのですが、つつい羽目を外してしまいがちで、その反動も心配になってしまいます。

学校においても、徐々に制限を減らして様々な取り組みを再開してきました。一人ひとりの子どもの努力、学年・クラスでの協力、行事に向かう盛り上がり等、様々な場面で子どもたちのがんばっている姿を見ることが出来ました。そして、どの学年においても子どもたちの確かな成長を感じました。

しかし、こここのところ学校全体に少し疲れが感じられます。小さなケガや体調不良で保健室に行く子が増えています。また、友だちとの小さなトラブルの増加に加えて、生徒指導事

象も数件起きています。幸い大きな事にはつながっていませんが、いつ何が起こっても不思議ではありません。

こんな時は我々大人もリフレッシュして、大きく構えて余裕をもって子どもたちと向き合うことが大切だと思います。2学期もあとわずか、学校ではもう一度子どもたちの状況をしっかりと把握して、学習面・生活面ともに丁寧に締めくくっていきたいと思います。

ご家庭でも規則正しい生活（早寝・早起き・朝ごはん）や家庭学習の取り組み等、ご協力よろしくお願いたします。